

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

「2025 年」に向けて急ピッチで改革が進む医療・介護業界。地域医療構想の下で医療提供体制の再編は待ったなしです。平成 27 年度の医療費が 41 兆円超と過去最高を更新する中、消費税増税が見送られ、財源確保が困難となっており、平成 30 年度の診療報酬・介護報酬の同時改定が厳しいものとなることは想像に難くありません。日本は人口に対する病院と急性期病床の数が先進諸国に比べて著しく多く、今後、病院の統合は避けられず、その統合・集約化は既に始まっているとも言われています。

このように、制度改革のスピードは年々加速するとともに、複雑な要素が絡み合い、「高次連立方程式」を解くような様相を呈しています。どんな時代にあっても、いかなる制度改革が行われようとも、それを実践するのは現場です。

2017 年は昨年に引き続き、医師をはじめとする理学療法士を含む医療者の需給推計辺りが大きく提示されるそうです。同時に「医療の質」と「医療提供体制の効率性」向上に尽力できる理学療法士が一層求められると考えます。私たち個々人は微力とはいえ、世の中の情勢にも関心を向け、より良い社会を創造するために尽力する意識・方策をもちたいものです。

さて、茨城県理学療法士会は今年 5 月で設立 46 周年を迎えます。この間、会員数は 9 人から 2,000 人を超え、事務職員を雇用し、専用事務所も設置し、公益法人として県民の健康に寄与する活動をする団体として関係各位の皆さまにご評価頂いています。現在まで茨城県理学療法士会を応援し、厳しくも温かく育ててくださった関係各位の皆さまに心より感謝の気持ちを持ち、茨城県理学療法士会ならび会員一同は茨城県にさらなる価値を提供し、茨城県の社会保障の発展につながるよう、様々なチャレンジをこれからも展開したいと考えています。

本年も皆様からのご指導ご鞭撻ならび一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 茨城県理学療法士会

会長 斉藤秀之

(医療法人社団筑波記念会)